

【Press Release】

報道関係者各位

2014年2月25日
カタール フレンド基金

「3年目を迎える東北復興と被災地支援」をテーマに パネルディスカッションを開催

東日本大震災の被災地復興支援プロジェクトに資金を援助するカタール国の基金「カタールフレンド基金（以下、QFF）」（議長：ユセフ・モハメド・ビラル駐日カタール国特命全権大使）は、去る2月20日（木）に、プレスブリーフィングを東京都内で開催しました。

プレスブリーフィングでは、これまでのプロジェクトの進捗状況と今後の予定をご説明したほか、「3年目を迎える東北復興と被災地支援」をテーマに、カタールフレンド基金の親善大使である俳優の別所哲也氏の進行のもと、パネルディスカッションを開催しました。

パネリストには、復興庁総合政策班の海堀安喜参事官、福島県で教育支援を行っている東京大学教授の松井彰彦氏と、カタールフレンド基金助成プロジェクトのパートナーである特定非営利活動法人難民を助ける会（AAR Japan）東北事務所長の加藤亜季子氏、社団法人エコ食品健研究会代表理事の久保正英氏を迎え、「持続可能性」、「共同体の大切さ」、「復興に向けた横の連携」の3つを主なトピックとしてディスカッションが行われました。





パネルディスカッションのモデレーターを務めた QFF 親善大使の別所哲也氏は、「震災から 3 年を迎える節目に、東北の復興支援として私たち一人一人に何ができるのか？を改めて皆さんと一緒に考えていきたい。」また「国・行政の支援に加え、QFF や NGO/NPO からのサポート、そして地域や共助の力がいくつもの層となって重なって、復興の動きをさらに加速していければ」とコメントを寄せました。

当日は、カタールフレンド基金が支援を決定した東北 3 県における 9 つのプロジェクトの進捗状況のプレゼンテーションも行われ、既に稼働している 4 つのプロジェクトに加え、今年、4 月に宮城県気仙沼市唐桑町で生簀を活用して三陸地域の漁業の活性化を図る事業の始動を皮切りに、宮城県内での教育施設のオープンなど教育分野で 3 つのプロジェクト、また、健康の分野では福島県白河市内の運動公園の改修など、これまで準備を進めてきた事業の始動が相次ぐ予定です。詳細は次ページの一覧をご参照ください。

■ カタールフレンド基金 (QFF) とは

カタールフレンド基金は、2012 年 1 月に設立された、東日本大震災の被災地復興を支援するカタール国の基金です。カタール国の前首長のシェイク・ハマド・ビン・ハリーフ・アル・サーニ殿下が設立し、新首長タミム・ビン・ハマド・アル=サーニ殿下の指揮の下、ハリッド・ビン・モハメド・アルアティーヤ カタール国外務大臣の主導で活動しています。議長はユセフ・モハメド・ビラール駐日カタール国特命全権大使が務めており、親善大使には俳優の別所哲也氏が就任しています。復興が本格化する 2012 年 1 月から 2014 年 12 月の約 3 年間にわたり、「子どもたちの教育」、「健康」、「水産業」の 3 分野を支援するプロジェクトを対象に、迅速かつ効率的に運営されています。特徴は、プロジェクト運営者による持続可能な方法を編み出し、直接的な支援をしている点です。支援金額は、総額で 1 億米ドルの活動資金の助成を行う予定です。東日本大震災の復興に向けた歩みを、被災地と共に手を携えながら進めていく友でありたい、というカタール国の願いと意志が込められています。今後のカタールフレンド基金の活動については、公式サイト (<http://www.qatarfriendshipfund.org>) を通じて随時発表します。

本件に関するメディア関係者からのお問い合わせ先:

カタールフレンド基金 PR 事務局 (キャンドルウィック株式会社)

担当: 長柄 (ながら)、橋爪 Tel: 03-3498-2770/Fax: 03-3498-2771 E-mail: press@candlewick.co.jp

カタールフレンド基金支援プロジェクト一覧 (開始時期順)

(2014年2月25日現在)

開設/開始時期	プロジェクト概要	地域	協力パートナー	分野
既にスタートしているプロジェクト				
1 2012年10月	女川漁港に多機能水産加工施設 「マスカー」を建設	宮城県女川町	公益社団法人日本財団	水産業
2 2012年11月	東北3県の被災地域で、 心とからだの健康を守るための多彩な活動	宮城県 福島県 岩手県	特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AARJ) 盛岡市立病院	教育 健康
3 2012年11月	最新の冷凍技術の導入により、 鮮度の良い海産物を直接全国に届ける 漁業の6次産業化事業	岩手県釜石市	財団法人釜石・大槌地域産業育成 センター 釜石ヒカリフーズ株式会社	水産業
4 2012年11月	仮設住宅に暮らす方々に野菜を育てるための 道具を提供したり、太陽光発電システムを学ん だりするワークショップを開催	宮城県気仙沼市	一般社団法人 エコ食品健康会	健康
2014年に始動するプロジェクト				
5 2014年4月	地元漁師を組織化し、新規に設置する生簀施設 を通じて、直接獲れた魚を販売する、三陸地域 漁業の活性化事業	宮城県気仙沼市	公益社団法人 日本国際民間協力会 (NICCO)	水産業
6 2014年5月 2014年7月	小学生・中学生の社会的自立力育成を 目指した体験型の学習施設	福島県いわき市 宮城県仙台市	公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本 福島県いわき市 宮城県仙台市	教育
7 2014年7月	被災地域の小学生等を対象とした 科学体験型の子どもキャンパス@東北大学	宮城県仙台市	国立大学法人東北大学 工学研 究科	教育
8 2014年11月	白河市のスポーツおよびコミュニティ施設を 改築・新築する事業—カタールスポーツパーク	福島県白河市	福島県白河市	健康
9 2014年12月	グローバルな起業支援ネットワークを通じて、 人々の起業を支援するプロジェクトを行う	宮城県仙台市 東京都港区	一般社団法人 IMPACT Foundation Japan	教育